

日韓友好へ 伝統の舞

大阪の高校 「朝鮮通信使」披露へ

さが総文は1日、郷土芸能部門に私立建国高校（大阪市住吉区）の伝統芸術部が出場する。在日コリアンのために設立され、現在は日本人の生徒も通う同校。お互いの文化にひかれ合う生徒たちが、韓国の伝統芸能をもとにした「現代の朝鮮通信使」を演じる。日韓の大人们的関係がぎくしゃくする中、自然体で架け橋になるうとしている。

「平和と友好のために、私たち朝鮮通信使がやって参りました」

1日の本番を前にした練習。白い伝統衣装の女子部員が笑顔で口上を述べると、伝統楽器のリズムに合わせ、龍が描かれた巨大な旗の舞や、仮面舞踏などが次々披露された。

題名は「夢舞～朝鮮通信使より」。朝鮮王朝から江戸時代の日本に派遣された外交使節団を模した行列に始まり、韓国の農村に伝わる芸能ブンムルノリをベースにした演技を開幕する。構成を手がけた在日2世の車千代美コーチ（60）は「日本のこと、韓国のことともよく分かる私たちは、いまの状況がとても苦しい。生徒たちは『自分た



て、その背景は様々だ。両親が日本人の細井彰佑さん（1年）は小学生の時、同部の公演を目的にして圧倒され、「自分もやりたい」と建国中学に入学。以来、総文祭は「あこがれの舞台」だ。「小学生の自分を感じさせた、先輩たちのような演技をしたい」

そんな部員たちをリードする部長の李克彦さん（3年）は在日3世。沖縄発祥のエイサーや中国由来の獅子舞が披露されることもある。大阪府高校芸術文化祭をして、総文祭に15年連続出場することに誇りを持つ。

「多様な文化が集まる大阪のみんなを代表するつもりです。『お互い、いい文化があるね』と思ってもらえるように演じます」

（上原佳久）

さが総文
2019 第43回
全国高等学校総合文化祭

宿から始まる③

かつて城下町として栄えた福島県南相馬市小高区。JR小高駅前の大通りに、4代続く「双葉屋旅館」がある。6月末、原発事故で同じく被災したウクライナの消防士らが開して3年。これまで約20カ国から宿泊客が来た。きっかけは原発事故被害の視察や支援だが、今はそれだけではない。客と住民や客同士がつながる。国と飲み、顔を赤らめた。

避難先から帰還し、旅館を開いて3年。これまで約20カ国から宿泊客が来た。きっかけは原発事故被害の視察や支援だが、今はそれだけではない。客と住民や客同士がつながる。国と

かつて城下町として栄えた福島県南相馬市小高区。JR小高駅前の大通りに、4代続く「双葉屋旅館」がある。

てんてんこ

710

公文 FCの指導者は

都労委認定 団交入

フランチャイズ（FC）契約を結んでいる学習塾「公文式教室」の指導者が大坂府高校芸術文化祭をして、総文祭に15年連続出場することに誇りを持つ。

「多様な文化が集まる大阪のみんなを代表するつもりです。『お互い、いい文化があるね』と思ってもらえるように演じます」

（上原佳久）

大阪地裁判決

享月 開局

奈良の卸売業者 6.6億円不正取引

伝票偽装など 県が改善命令

奈良県中央卸売市場（同県大和郡山市）で総額約6億6千万円の不正取引をしたとして、県は31日、市場内にある卸売業者「奈良大

また、この赤字を穴埋めするため、実際には売っていない野菜を伝票上で仲卸業者から同社の関連会社へと売り、さらに同社がそれを仕入れた形にして、仕入れの際に生じる手数料を関連会社から不正に得ていたという。同社と仲卸業者4社の間に計約2200万円に上る別の架空取引もあり、仲卸業者が支払った現金を各社の社員計10人が着

に占用料請求「違法」



屋上部分に阪神高速が通る

大阪市中央区の「船場センタービル」を管理する大阪市開発公社が、阪神高速を保有する独立行政法人「日本高速道路保有・債務返済機構」から